

# iPadを使った 本校の授業実践

栃木県立那須特別支援学校  
iPad研究班

# iPadを活用した生活単元学習

(例) 校外学習 (新幹線見学) のしおりを作ろう!

- ① iPadで新幹線の動画を見る。
- ② iPadを使って、手分けしてしおりを作る。

「かなもじ」で  
表紙の文字を書く。

自分で書ける文字は自分で、  
なぞれば書ける文字は  
なぞりで書きました



「お絵かきPAD」や「音DEぬりえ」で  
下地を描く→新幹線の画像を埋め込む



音DEぬりえで描きま  
した楽しい音が鳴るお  
絵かきツール。自分か  
ら積極的に手が出ます。

写真の埋め  
込みはお絵  
かきPAD  
で。

# 「いつ」「どこへ」の数字や写真をあてはめる



数字は手元のカレンダーとマッチングして選びました。数字は画像ファイルにして、お絵かきPADで埋め込みました。写真も同様です。一覧に出てくるファイルから、自分で触れて選べます。

## ③みんなが作ったしおりを見る

数台のiPadを使って、それぞれが作ったページは、「PHOTOSHARE」を使って1台のiPadに集めます。プロジェクターを使って、みんなで見ることができます。



## ④しおりを印刷する



自分たちで作ったしおりには、みんな興味津々。どのページもよく見て、校外学習に見通しが持てました。

※しおり作りの他にも、iPadを活用して、様々な生活単元学習の授業を行いました。

お絵かきツールで作成した台紙に、自分たちの写真を載せたカレンダー作り

傍に置いたiPadで手順の動画を見ながら行う調理学習

画像を組み合わせた完成予想図を見ながら、イラストを選んで壁面構成

文字練習ツールで書いた文字やイラスト、塗り絵や写真を入れた年賀状作り

植物の写真、収穫して調理した様子を載せた収穫日記作り

# 繰り返して「かく」学習。

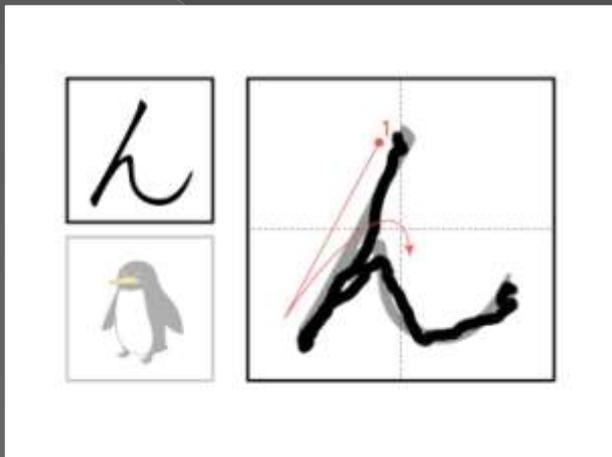
## ①なぞルートを使って線を引く練習。

始点から終点まで、指を使って上手になぞると、点線の上を電車が走ります。少しずつ難易度が上がり、色々な線をかけるように学習します。

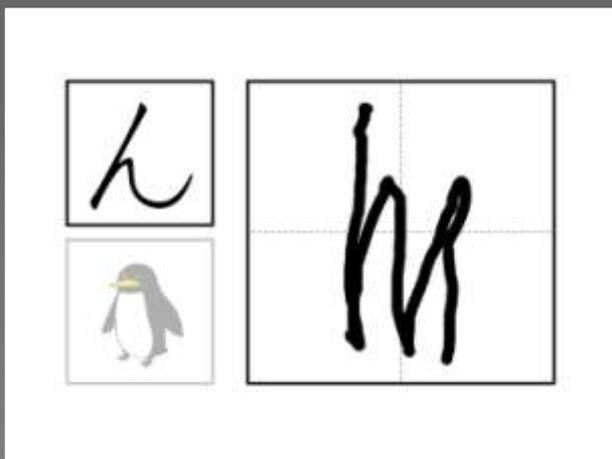


手のひらや他の指で、画面の他のところを触れてしまいがちな児童は、指が一本だけ出るように先を切った軍手を使いました。これで操作がしやすくなりました。

## ② 「かなもじ」を使ったひらがな練習



最初は何回もなぞり書き。教師が他の友達に教えている間に、繰り返しながらって自習をします。自分でよくできたと思ったら、画像を保存。後から教師に見てもらいます。紙で勉強するよりも手軽だから、多くの練習ができました。



上手になぞれるようになったら、今度は見本を見ながら自分で書きます。これも何回も、納得いくまで書くことができます。白いスペースに書くこともできるし、ガイド線や書き順を表示することもできます。



紙と筆記用具を使うよりも、直接画面に指で触れて線を書く方がわかりやすく、効果的に字の練習ができました。やりなおしがすぐにできるのもメリット。上手に書けるようになったら、少しずつ紙と筆記用具での学習にも移行できました。

この写真では、通常の筆記用具への移行の学習で、iPad用タッチペンを太く加工したものを使用しています。

## ※文字練習には他のソフトも使いました

「文字練習帳」には、採点機能があります。「かなもじ」と同じように、なぞったり、ガイド付きで書いたり、白いスペースに書くなど、段階を追って練習できます。そして書いた後に採点ができるので、意欲につながりました。一人で学習している時にも、自分で書いたものを修正できました。



# 自立活動の授業での活用

画面に触れることで、視覚的、聴覚的な変化がわかりやすい形で起きるアプリでは、自分から意欲的に操作する児童生徒が多くいました。

「うたえほん」「うたえほん2」では、女性の手遊び歌やキャラクターが動く動画を見たり、触れてキャラクターや楽器を操作することで、手指を積極的に動かすことができました。



最初の、画面に自由に触れる段階から、「どこに触れたらどう変わる」を意識できるようになってきたら、人差し指の部分の切った軍手を使う学習が効果的でした。

自立活動ではその他に、「ilovefireworks」「Magicpiano」「Virtuoso」「Toddler Piano」「キッズドラム」「PERCUSSIVE」などのアプリを活用しました。

## 訪問教育学級などでの実践

教員を派遣して家庭や施設で学習する児童生徒の授業で、iPadを活用しました。

家庭で学習する児童生徒は、学校にある楽器などの教材すべてを使用して授業をすることが難しいので、タブレット型機器であるiPadを使用した学習が有効でした。姿勢に合わせて位置を調整できるので、操作しやすい位置に置くことで、自分から触れて意欲的に学習できました。



I love fireworkや、楽器などのアプリを活用して学習しました。

「うたえほん」などのアプリでは、自分から積極的に手を動かして操作する姿が見られました。



普段家庭で学習しているため、友達と  
かかわる機会を多く持つことが難しい  
児童生徒が、iPadを使ったビデオレ  
ターを作成してお互いに見る学習を  
行っています。

普段は通学しているけれどもしば  
らく欠席した児童も、クラスの友  
達とiPadを使ったビデオレターを  
交換しました。

※ 通学して学習している児童生徒の中には、学校看護師  
による経管栄養や吸引のために、学校生活の中の一定  
時間、教室から離れてケアを受けている子がいます。  
ケアを受ける部屋に多くの教材を置いて学習すること  
で上げた場面もありました。

# iPad2を使った学習

貸与されたiPadの他、iPad2を使った授業実践も行いました。  
特に、カメラ機能を使った学習が有効でした。



撮影した写真がすぐに見られるので、実物を使ったカードのように活用できました。デジカメで撮影した写真をカードに加工することと比べて、非常に手軽なので、多くの写真を活用して学習できました。特に、授業の流れの中で撮影して、その場で活用する学習が効果的でした。

育てている植物の写真を、毎日同じ位置で撮影しました。iPad2内のハードディスクに保存された写真を順に送って見ることで、植物の成長を視覚的に理解できました。

体育の授業で、児童生徒が体を動かす様子を、iPad2を使って動画で撮影しました。授業のまとめで、動画を見ながら頑張ったところを称賛したり、次回に向けての課題について話をしました。